

# 整形外科学総論

## 【Musculoskeletal System I】

担当責任者 教授（整形外科学） 酒井 昭典

### ねらい

1. 運動器一般の知識を修得する。
2. 基礎医学としての解剖学・生理学と臨床医学としての整形外科学との関連性を理解する。

### 学修目標

1. 整形外科の歴史と運動器疾患の診察法と治療法を理解する。(II-6)
2. 四肢・躯幹の形態と機能の概略を述べる事ができる。(II-1)
3. 骨・関節を臓器として理解し、疾患における一般的症状を記述することができる。(II-1, II-5)
4. 外傷・労働災害・スポーツ傷害・小児整形外科の特性を理解し、治療の原則を述べる事ができる。(II-5, II-6)

### 事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、教科書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

### 成績評価方法・基準

1. 毎回の講義において理解度チェックのための小テストを行う。
2. 課題を与え、レポートを提出させる。
3. 小テスト(約8割)とレポート(約2割)の結果を基に、受講態度や出席状況等を加味し、総合的に判断する。
4. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

### ○教科書

井樋 栄二 他 編 「標準整形外科学 第14版」 2020年（医学書院）

### ○参考書

大鳥 精司 他 編 「TEXT整形外科学 改訂5版」 2019年（南山堂）

酒井 昭典 他 編 「骨折の治療指針とリハビリテーション」 2017年（南江堂）

P.Tornetta, III. 他 編 「Rockwood & Green's Fractures 第9版」 2020年（Wolters Kluwer）

Frederick M Azar 他 編 「Campbell's Operative Orthopaedics 第14版」 2020年（Elsevier）

講義:2208講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.10.27	水	7・8	運動器疾患総論(歴史・診察法・治療)と整形外科外傷学(小テスト・レポート提出)	D	4	(1)~(3)	善家 雄吉
11.10	"	"	腫瘍性疾患(小テスト) (骨腫瘍・軟部腫瘍・腫瘍類似疾患・代謝性疾患・その他)	"	"	(1)~(3)	鈴木 仁士
11.17	"	"	手の外科(小テスト) (骨・関節・腱・神経の機能解剖、外傷と疾患)	"	"	(1),(2)	山中 芳亮
11.22	月	"	股関節疾患(変形性股関節症・ペルテス病・大腿骨頭壊死・その他)・小児整形外科(小テスト)	"	"	(1)~(3)	塚本 学
11.29	"	5・6	骨関節の感染症(小テスト) (骨髄炎・関節リウマチ・骨壊死・骨端症)	"	"	(1),(2)	田島 貴文
"	"	7・8	脊柱・脊髄疾患(小テスト) (腰痛疾患・変形性脊椎症・脊髄症・側彎症・その他)	"	"	(1),(3)	邑本 哲平
12.6	"	"	スポーツ傷害(小テスト)	"	"	(1)~(3)	村田 洋一
12.13	"	"	膝関節疾患(小テスト) (変形性膝関節症・膝内障・骨壊死・その他)	"	"	(1),(3)	藤谷 晃亮